

令和4年度 生物多様性推進活動優秀賞表彰について

○表彰の対象は、以下の取組を行う功績顕著な学校等

自然の恵み	地元食材や旬の食材、地元の食文化について理解を深める取組
ふれあい	自然体験を通じ、自然と関わる楽しさや厳しさ、その地域の特色を学習する取組
自然表現	絵画や作文などの創作活動により、自然のすばらしさや自然との関わり方を学習する取組
自然保護	身近な自然を対象にして、自然や生きものの調査、保護を行う取組
その他	上記のほか、特に生物多様性の保全に資すると認められる取組

○令和4年度表彰校・取組実績一覧

整理番号	学校名	表彰部門	取組実績
1	大衡村立大衡小学校 (3～5学年)	自然の恵み・ ふれあい・ 自然保護	大衡村の自然環境を生かし、りんご農家の見学と食体験、しいたけや米の栽培体験、学校田や学校ビオトープに生息する生物の生態系を観察する学習を行った。 農業や食体験活動を通じて、地産地消の大切さ、自然と農業の関わりについて学びや気づきが行われている。 また、生物の観察を通して多様な生物の関わり合い、自然を守る大切さについて考えを深めた。
2	蔵王町立平沢小学校 (2、3、5、6学年)	自然の恵み・ 自然保護	地元のイチゴ栽培農家、稲作農家を訪れ、栽培方法や工夫を学ぶとともに、バケツ稲での水の管理や成長の記録を行った。学校林での植林作業や柴田農林高等学校と連携した伐採作業も行っている。 農林業体験を通して、地元で行われている農家の仕事や工夫を知り、地元の特産品に対する意識を高めることが出来た。学校林での植林や伐採作業を通して、緑を守り育てようとする意識が高まった。
3	加美町立西小野田小学校 (1～6学年)	自然の恵み・ ふれあい・ 自然保護	自然豊かな薬菜山に群生している樹木への樹名板の設置、鳴瀬川での稚鮎放流、上流・中流・下流部を訪問し、水生生物等や地域の営み等について調べている。また、米作りや地域の伝統野菜を栽培し、給食での食体験を行っている。 直接体験の重視や活動の累積により、児童が地域のよさを再発見し、自然保全や自然保護の意識が高まってきている。親子で地域の自然環境等について考えるようになっている。
4	女川町立女川小学校 (3学年)	ふれあい・ 自然表現	町内の鳴り砂の浜に行き、素晴らしい自然に触れながら、町民が協力して実施してきた清掃活動の実体験を聴き、ふるさとの自然について学んだ。 振り返りでは、ふるさとの自然の素晴らしさを実感するとともに、これまで町民が守ってきた自然を自分たちも守っていきたいという意欲を高めることができた。凶工の心に残った風景を描く学習では、鳴り砂の風景を表現している児童が多く見られた。

5	気仙沼市立鹿折中学校（1学年）	自然保護	<p>「小田の浜漂着物調査・海浜清掃」を実施した。砂浜に漂着したものを収集しながら、種類毎に分類して記録し、「海洋ゴミ」の実態について調査した。</p> <p>漂着物の種類を調べることで、海に捨てられているゴミにどのようなものがあるか認識し、自分の生活の仕方が海洋生物にあたる影響や環境保全につながっている事を実感できた。また、自分たちの活動の有効性を実感し、郷土愛や地域貢献の気持ちを育んだ。</p>
6	宮城県南郷高等学校	自然の恵み・ふれあい	<p>鳴子温泉地区で害獣対策柵の設置、穴堰の清掃、伝統野菜（鬼首菜）の栽培等の活動を行っている。伝統的な水管理システムの維持、美しい景観、自然の力や野生動物との共生について学習した。</p> <p>年間を通した活動によって生徒の農業への興味・関心の高まりや地域への愛着の深まりがみられ、大崎耕土の生物多様性の維持や認知度の向上、伝統野菜の保全、過疎が進む地域社会を維持する取り組みになっている。</p>